

浜松市生活支援体制づくり協議体（第2層、ありたま圏域） 第3回会議 議事録

開催日時	令和5年2月22日（水）10時00分から11時30分まで
参加者	委員：8人 事務局：1人 その他：10人（高齢者福祉課：3人、東区長寿保険課3人、積志協働センター1人、包括支援センターありたま：1人、浜松市社協：2人）
場 所	積志協働センター 302 講座室
内 容	<p>【開会】 会長より開会の挨拶</p> <p>【前回の振り返り】 ・会議録に基づき、前回の協議体の内容についての説明を行う</p> <p>【協議事項】 (1) 積志地区の地域資源・生活環境マップの現状について ・事務局より、令和元年に作成した積志地区の資源マップデータの振り返りを行い、現在の状況との違いやSCが疑問に思った点について、積志地区の紙マップを見ながら意見交換を行った。</p> <p><u>委員からの意見</u></p> <p>① なぜ、この3年間で有玉南町の人口が300人増加したのか？ ・水田だった所にマンションやアパートが建った。 ・今までは農家だった人の継続が難しくなり、農家業をやめてアパートを建てるようになったからではないか。市場という地区はかなりの数のアパートが建っている。</p> <p>② 他の町と比べて有玉台全体で高齢化率が増えているのはなぜか？ ・昔から住んでいる人が変わっていない。それだけみんな高齢になってきている。有玉台1丁目は一番最初からある。 ・東名高速道路の三方原スマートインターチェンジができたが、できることによるの立ち退きはなかった。 ・有玉台2丁目は古い家を潰し、新しい家ができています。 ・感覚的には、有玉台は高齢化率をもっと高くなっていると思う。</p> <p>③ 西ヶ崎町の高齢化率が最も高い原因と半田山4丁目が最も低い原因は？ ・西ヶ崎町は人の移動がない。空き家が所々ある。 ・半田山4丁目は医大もあり若い人が多くいる。</p> <p>【生活環境について】 ・遠鉄ストアの移動販売車が積志地区（積志町、中郡町、大瀬町、大島町）の18ヶ所回っている。 ・杏林堂のとくし丸は、半田山、半田町を5ヶ所程度回っている。</p>

【家事支援の状況について】

- ・家事支援の依頼が多いのは半田山3丁目、有玉台2丁目、4丁目、西ヶ崎では遠州鉄道の東側、大瀬町ではさぎの宮の北部等が多い。
- ・家事支援の依頼内容は、庭木の伐採、草取り、ゴミ出し等である。
- ・最近、入院している人にその家族が必要なものを病院に持っていけない代わりに家事支援で持って行ってほしいと頼まれることが多い。
- ・移動支援については、今まで利用していた人が入院や施設入ったため、利用者は少ない。なるべくタクシーを利用してもらうようお願いしている。

○ゴミ出しについて

- ・昔、ゴミ出しはヘルパーの支援を受けている人が多かったが、ゴミを持っていくだけでヘルパーを頼むのはということもあり、包括からゴミ出しをやらせてもらえないか地区社協にお願いした経緯がある。しかも今は、どのヘルパー事業所も慢性的な人手不足のため、家事支援はとても助かる。
- ・ゴミ出しと買い物をヘルパーに頼むのは相性が悪い。8時30分にゴミを出してそれから買い物に行くにしてもまだお店が開いていない。
- ・ゴミ出しの際、顔を見てゴミを渡してくれる人とそうでない人の割合は半々である。また、ゴミ出しは8時30分までなので、男性と違い女性は朝の時間帯は大変。
- ・ゴミを実際に回収に来る時間は昼頃の所もあるし地区によってバラバラである。

○木の処分について

- ・伐採した枝を市の処分場まで持ち込むが自分の家のものは無料で引き取ってくれるが、他人の家ものは一切受け取ってくれない。そのため、有料のところを持っていくため、2,000円～3,000円かかる。折角、家事支援で安価でやっても処分費等の費用が多くかかり依頼者の負担も倍になる。なんとか市の方でできる方法はないのか。
- ・自治会の方で書類を書いてもっていけば無料になるのではないか。
- ・対応する処分場の職員によってバラバラで、この前は受け取ってくれなかった。500円でもお金が発生すれば、市では受け取れないと断られた。
- ・市の方で許可証みたいなものはでないのか？ボランティアで営業ではない。業者ではないことを明確にして受け取ってもらいたい。
- ・災害ごみではないけど、同じ扱いになればよいと思う。

高齢者福祉課より

- ・この場ですぐに答えられる問題ではない、家事支援としてやってきている経緯もあるので、問題を整理して一度担当の者とも話し合ってみる。

	<p>家事支援全体を通して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家事支援事業の登録活動者は44人いて、実際に活動している人が25人。依頼が偏らないようにコーディネーターがうまく調整している。活動者が負担に思わないように心掛け、今後は社協のジャンパーを作ることも検討していて、お手伝い活動として地域住民にわかるようにしていきたい。 <p>【サロン・居場所等について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度は市場にサロンができ、来年度は半田山北（4、5、6丁目）に1カ所できて全部で12カ所になる。 ・大瀬町・大島町あたりも集まりたいという声が上がっているがなかなかできない。 ・積志地区には29団体のシニアクラブがあり、サロンとシニアクラブが競い合っており、シニアクラブはサロンに人がとられるのではないかと思っている。本来は共存しないといけないと思う。 ・シニアクラブは男性が少なく、人が集まらなく困っている。 ・シニアクラブ、サロン関係なく、行きたいところに行けるようにしたい。 ・大瀬町は、コロナ前までシニアクラブやサロンに関係のない集まりをやっていた。大瀬東の公会堂で夜の19時30分から始まり、地域の住んでいる人は誰でも参加できた。再開できればよいと思うがリーダーとなる人がいない。 ・こうやって地図を使って、サロン等がどこにあるか目に見えるのがよいと思う。また、家事支援の依頼場所もマップにしたら良いと思う。 <p>(2) 令和5年度第1回協議体開催について 令和5年5月8日以降に開催予定。</p> <p>【閉会】 副会長より挨拶</p>
<p>今後の見通し等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度については、引き続き、居場所の検討（サロンの活性化、シニアクラブとの関係性、新規の立ち上げ）で話を進める。また、家事支援サービスの対応や取り組み改善に向けた話し合いをしていきたい。